

第40回神戸電鉄栗生線活性化協議会

日時：令和2年7月9日（木）
午前10時10分～午前11時50分
場所：三木市役所 5階 大会議室

○事務局

失礼いたします。定刻となりましたので、ただいまから第40回神戸電鉄栗生線活性化協議会を開催いたします。

私は協議会事務局の三木市都市整備部長、〇〇と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本日の協議会の開催に当たりましては、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底のため、御出席のかたにおかれましては、自宅での検温、マスクの着用、こまめな手洗いやアルコールの手指消毒等についてあらかじめお願いをしているところでございます。

また、会場内におきましても、冷房運転と併せまして室内換気のほか、通常の座席レイアウトを変更いたしまして、座席と座席の間隔を空けておりますので、御理解のほどよろしくお願いいたします。

それでは、協議会の開催に当たりまして、本協議会の会長であります三木市、仲田市長のほうから御挨拶をお願いいたします。

○会長

皆さん、おはようございます。今日は、次第を見ておりますと、第40回という、ある意味で記念すべき神戸電鉄栗生線活性化協議会の開催となります。

本当にお忙しい中、こうして御参加いただきましたことに厚く御礼申し上げます。本年度初めての協議会ということでもありますので、委員が変わられたかたもありますので、この後、紹介等をさせていただきたいと思っております。

また、令和元年度、昨年度の事業報告、歳入・歳出決算、監査報告、そして、令和2年度の協議会の取組方針等を皆様がたに議論をしていただきたいと思いますので、忌憚のない意見をお出しいただければ幸いに思います。

さきほど、〇〇部長のほうから話でしたが、今年は新型コロナウイルス感染症という、我々が本当に経験したことの無いような状況でございます。その影響についても、中止になった事業等についても報告させていただきたいと思っております。

実は、一昨日、私は兵庫県治水砂防協会の会長をしております、治水、

砂防、河川改修、いわゆる砂防堰堤等の、いわゆる防災上、命を守るという、兵庫県29市12町全ての市が加盟しておるわけですが、現在、会長ということで、一昨日、国土交通大臣、赤羽大臣のほうに、副会長のかたがたと面会をしてみました。

メインテーマは、立場上、砂防と防災、治水ということですが、赤羽大臣も、当然、神戸市北区、長田区の選出のかたでありますので、自然と神戸電鉄、また、公共交通、バス等の話をさせていただきました。

我々、市としましては、臨時創生交付金、地方各地に国から渡っております交付金がございます。それにつきまして、例えば市内完結路線でありましたら、市としてお金を使った支援というのも、当然、考えるわけですが、広域的にわたる公共交通については、当然、やはり国や県が支援すべきであると、ましてや営業自粛と補償はセットといいますか、公共交通につきましては、営業を要請している以上、国、県できっちりと補償をすべきではないかというお話もさせていただきました。

大臣は、当然、僕の言うことは理解できるということでありまして、今、いろいろと検討していただいているところではないかと思えます。

いずれにしても、この神戸電鉄粟生線は我々の非常に貴重な路線でありますので、これからもきっちりとみんなで守って残していくという取組を進めたいと思えますので、どうかよろしくお願い申し上げまして、今日は忌憚のない意見を出していただきたらと思えます。

この後、司会者のほうで話がありますが、この場でお話しにくいことがありましたら、アンケート等も取らせていただきますので、どうぞよろしくお願いを申し上げまして、開会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○事務局

ありがとうございました。それでは、これ以降は着座の上、進めさせていただきます。

それでは、本年度最初の協議会となりますことから、委員の皆様全員を御紹介いたします。お手元の資料1-4ページ目、別紙に記載された名簿順で御紹介いたします。

なお、本日、小野市関連の委員さんにつきましては、昨年度、協議会からの脱退等の報道もございましたが、このたび、粟生線存続のために脱退はしないということのお話をいただいております。

加えまして、協議会が神戸電鉄について活発な議論ができる場であることを確認し、協議会への復帰を考えたいということでございますので、この協

議会、活発な議論ということでお願いをいたしたいと思います。それでは、資料に基づきまして委員のほうの御紹介をいたします。

まず、地方公共団体の部でございます、

兵庫県県土整備部県土企画局長の〇〇様でございます。

〇〇〇委員

兵庫県県土整備部県土企画局の〇〇でございます。7月1日から就任いたしました。どうぞよろしく申し上げます。

〇事務局

神戸市都市局担当部長、交通担当の〇〇様でございます。

〇〇〇委員

お世話になっております。〇〇と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

〇事務局

三木市長の仲田一彦でございます。

〇会長

よろしく申し上げます。

〇事務局

小野市副市長の〇〇様でございますが、本日は御欠席となっております。

関係する公共交通業者といたしまして、神戸電鉄株式会社経営企画部長兼鉄道事業本部長付部長、〇〇様でございます。

〇〇〇委員

〇〇でございます。よろしく申し上げます。

〇事務局

神姫バス株式会社バス事業部計画課地域公共交通担当課長の〇〇様でございます。

〇〇〇委員

〇〇でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

〇事務局

続きまして、関係する道路管理者といたしまして、兵庫県北播磨県民局加東土木事務所長、〇〇様の代理で、本日は〇〇所長補佐様がお越しになっております。

〇〇〇委員代理

本日、〇〇の代わりに出席させていただいております〇〇と申します。どうぞよろしく申し上げます。

〇事務局

続きまして、神戸市建設局道路部計画課長の〇〇様でございますが、本日は欠席となっております。

○事務局

三木市都市整備部道路河川課長の〇〇でございます。

〇〇〇委員

〇〇と申します。どうぞよろしく願いいたします。

○事務局

小野市地域振興部道路河川課長の〇〇様でございますが、本日は御欠席でございます。

関係する公安委員会といたしまして、兵庫県神戸西警察署交通第一課長の〇〇様でございます。本日は御欠席とお聞きしております。

兵庫県三木警察署交通課長、〇〇様でございます。

〇〇〇委員

〇〇です。よろしく願いいたします。

○事務局

兵庫県小野警察署交通課長、〇〇様でございます。

〇〇〇委員

〇〇です。どうぞよろしく願いします。

○事務局

続きまして、関係する地域公共交通の利用者といたしまして、まず、押部谷町連合自治協議会会長の〇〇様でございます。

〇〇〇委員

「みつとも」ではなしに、「みつとみ」でございます。

○事務局

失礼いたしました。

〇〇〇委員

私は高校時分に三木高校に行ってみて、粟生線をしょっちゅう利用させてもらってました。入ったときは上の丸のほうだったんですけども、卒業するときは加佐のほうに変わってました。どうぞよろしく願いします。

○事務局

誠に失礼いたしました。

続きまして、元押部谷町連合自治協議会副会長、〇〇様でございます。

〇〇〇委員

おはようございます。〇〇です。よろしく願いします。

○事務局

元三木地区区長協議会会長の〇〇様でございます。

〇〇〇委員

〇〇と申します。よろしく申し上げます。

〇事務局

元三木市区長協議会連合会会長、〇〇様でございます。

〇〇〇委員

〇〇です。よろしく申し上げます。

〇事務局

NPO法人ひょうごグリーンスタッフ理事長、〇〇様でございますが、本日、御欠席でございます。

小野市商店街理事、〇〇様につきましても、本日、御欠席でございます。

神戸商工会議所常務理事・事務局長、〇〇様でございますが、本日、御欠席でございます。

〇事務局

三木商工会議所常議員、〇〇様でございます。

〇〇〇委員

よろしく申し上げます。

〇事務局

小野商工会議所副会頭、〇〇様でございますが、本日、御欠席となっております。

兵庫県立三木東高等学校総合学科推進部長、〇〇様でございますが、本日は教頭の〇〇様が御出席いただいております。

〇〇〇委員代理

三木東の〇〇です。多くの生徒が利用させてもらっています。よろしく申し上げます。

〇事務局

兵庫県立小野高等学校教諭、〇〇様でございます。

〇〇〇委員

小野高等学校の〇〇です。よろしく申し上げます。

〇事務局

引き続きまして、学識経験者といたしまして、国立大学法人神戸大学名誉教授、〇〇様でございます。

〇〇〇委員

〇〇です。よろしく申し上げます。

〇事務局

続きまして、オブザーバーのかたを御紹介いたします。

国土交通省近畿運輸局交通政策部交通企画課長の〇〇様で、本日、代理で〇〇専門官が御出席いただいております。

〇〇〇オブザーバー代理

本日は私が出席させていただきます。よろしくお願いいたします。

〇事務局

国土交通省近畿運輸局鉄道部計画課長の〇〇様でございます。

〇〇〇オブザーバー

〇〇でございます。よろしくお願いいたします。

〇事務局

国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部首席運輸企画専門官、輸送担当の〇〇様でございます。

〇〇〇オブザーバー

〇〇です。どうぞよろしくお願いいたします。

〇事務局

兵庫県神戸県民センター県民交流室神戸魅力づくり参事、〇〇様でございますが、本日は御欠席となっております。

兵庫県北播磨県民局県民交流室長の〇〇様でございます。

〇〇〇オブザーバー

〇〇です。よろしくお願いいたします。

〇事務局

神戸市西区総務部まちづくり課長の〇〇様でございますが、本日は御欠席となっております。

以上、御紹介とさせていただきます。

なお、本日の委員の出欠状況につきましては、さきほど御紹介をいたしました。協議会委員、定員25名のうち、出席は17名でございます。過半数以上の出席をいただいておりますことから、本協議会規約第8条第4項の規定により、本会議が成立していることをここに御報告いたします。

それでは、次第3、議事に入りたいと思います。これからの進行につきましては、仲田会長にお願いをいたします。よろしくお願いいたします。

〇会長

それでは、私のほうで進めさせていただきます。

早速ですが、3番の議事第1号、令和元年度の事業報告について、まずは、事務局から報告をお願いします。

〇事務局

失礼いたします。事務局をしております交通政策課の〇〇でございます。本年度も協議会の事務局といたしまして精いっぱい取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

それでは、以後の報告事項につきましては、着座の上、失礼をいたします。

それでは、お手元資料2ということで、A3横の資料をお願いいたします。この際、併せて、お手元に配布しております、配布資料-1から3につきましてもお手元に御用意いただければと思っております。

それでは、令和元年度協議会の事業報告ということで、ペーパーの左端、1から順に通し番号を振っております。その通し番号に基づきまして、主なものについて、抜粋という形になりますけれども、取組の御報告でございます。

まず、通し番号の1ということで、鉄道とバスの広域時刻表の作成ということでございます。「栗生線&バス乗継ガイド」の作成ということで、こちら、平成29年度のほうから継続して取り組んでまいりまして、令和元年度につきましても、昨年10月に1万5,000部を発行いたしました。とりわけ、「駅からバスでぶらり旅」というようなページを設けまして、栗生線からバスへ乗り継いでいくことのできる観光施設などを掲載するとともに、栗生線スタンプラリー、後でまた報告いたしますが、栗生線スタンプラリーの応募はがきもあらかじめセットしておくといったような工夫を凝らしたところでございます。

それから、その下になりますけれども、こちらは三木市の取組になりますが、「三木市公共交通総合時刻表」ということで、昨年12月に3万5,000部ということで、三木市としては初めてですけれども、総合時刻表の作成にも取り組みました。

その下、こちらは小野市さんの取組になりますけれども、同様に、市内公共交通の総合時刻表ということで、本年3月に2万1,000部発行をされておられます。

それから、続きまして、通し番号の2番と3番、こちらは関連する内容でございます。

まず、協議会事業といたしまして、神戸電鉄さんにおかれましては、ネスタリゾート神戸と緑が丘駅を結ぶ神姫ゾーンバスの乗車券を組み合わせる形で、ネスタリゾート神戸のプールをお得にお楽しみいただけるクーポンを発売されておられます。使用期間につきましては、神姫ゾーンバスさんの運行日に合わせる形で、土日祝日、お盆期間限定ということになっております。併せまして、神姫ゾーンバスさんにおかれましては、駅からバスへの乗継ぎ

の円滑化というところで、乗継時間を最大25分短縮するというダイヤ改正を行っております。

この通し番号の3番につきましては、令和元年度から取組に着手する方針ということでやってまいりましたけれども、計画どおり令和元年度着手ができたということでございます。

それから、通し番号の5番、7番、9番につきましては、こちらは神戸市さんの取組になりますけれども、鈴蘭台駅前広場のロータリーの供用を本年の2月末に開始をされたというところなんです。併せまして、駅前広場に一般車両の乗降スペースなどを設置されるとともに、タクシー乗り場を整備されたということでございます。

続きまして、通し番号の6番になります。駅的美装化の検討ということで、こちらはお手元の配布資料-1ということで、併せて、御覧をいただきたいと思っておりますけれども、こちら、駅的美装化につきましては、平成29年度から継続して取り組んでまいりまして、この令和元年度におきましては、押部谷におけますポスターグリップの設置、それから、壁面等の塗装というところ、併せて、粟生駅におけますポスタークリップの設置ということで、ポスターグリップ、ポスター等の掲示物、こうしたものの入れ替えを簡単にできる開閉式のパネルといったようなところなんですけれども、そうした整備を行ったということでもあります。

それから、通し番号の10番です。神戸電鉄さんが行います鉄道安全輸送設備等の整備に対する国、県、沿線市の補助ということでございまして、こちらは補助額が5億6,200万円ということで、令和元年度につきましても協調的な補助を実施したところでございます。

それから、ページをめくっていただきまして、2-2ページです。通し番号の11番になります。

こちらはいわゆる新型車両の導入ということでございまして、令和元年度におきましては、新型6500系車両の1編成を新造しております。こちらは、形成計画におきましては国庫補助の活用を前提といたしまして、5編成の目標を掲げておったところです。平成29年度につきましては2編成、平成30年度は2編成、そして、令和元年度は1編成ということで、合わせて5編成、こちらにも計画目標どおり達成できたということで御報告をいたします。

それから、その下の12番につきましては、こちらは三木市の取組になりますけれども、粟生線のいわゆるお昼間の時間帯におけます志染駅～三木駅区間の増便ということで、こちら、社会実験として2年間、令和2年の3月

14日のダイヤ改正に合わせて、市の施策として実施をしております。こちらは、また、後ほどの報告事項のほうで出てまいりますので、その際に詳しく御報告をいたします。

それから、17番になります。こちら三木市の取組となっておりますけれども、三木市におきましては市内の観光施設を循環する三木別所観光ルートというルートがあるわけがございますけれども、そうした観光ルートの拠点の一つ、三木鉄道記念公園前といったところを経由するルートに変更し、観光資源とバスルートを結ぶような見直しを行ったということでございます。

それから、その下の18番です。こちらにつきましては、観光資源、観光拠点の活用などという項目でございますけれども、2段目でございますように、日本女子プロゴルフ選手権大会ユニカミノルタ杯の開催に伴います臨時列車の運行ということで、委員の皆様もまだ御記憶に新しいかと思っておりますけれども、昨年9月に志染駅～三木駅区間の増便という形、当日は全英女子オープンを制しました渋野日向子選手も出場されるといったことで、いわゆる「シブコ効果」などもございまして、恵比須駅への利用者数が1万7,469人ということで、多くのかたが鉄道を利用して恵比須駅で乗降されたということでございます。

それから、通し番号の20番になりますけれども、住宅地や企業用地から駅への新規バスルートの検討ということで、こちら3市の取組を書かせていただいております。

まず、神戸市さんの取組におきましては、神戸市北区の北五葉の地域におきまして、コミュニティタクシー「おでかけ号」の本格運行を、本年のお正月から実施をされておられるということです。

そして、その下が三木市の取組ですけれども、三木の別所地区に巴の工業団地というところがございますけれども、そちらのアクセスバスの充実検討ということで、三木市におきましては、協同組合の各事業所様に対してアンケートを実施したり、あるいは、バスへの利用意向の確認、把握なども新たに行っております。途中、新型コロナの関係でなかなか面会等ができていない期間があったわけですけれども、引き続き、そうしたところを取り組んでいっているところでございます。

それから、その下、小野市さんの取組になりますけれども、樫山駅から匠台の工業団地を結ぶ、いわゆる「らん♡らんバス」の匠台ルートの運行を継続されておられます。併せまして、小野市さんにおきましては、利用者の増加といったところに対応するために、樫山駅前のロータリーを改修され、併せて、更新時期を迎えた小型バスを中型バスに置き換えられたということでご

ざいます。

続きまして、次のページ、2－3ページになります。通し番号でいいますと21番になります。

駅の空きスペースや駅前空間の活用というところで、昨年度につきましては、三木金物まつりの開催に合せまして、恵比須駅ロータリーにおいて出張販売といったものも実施をさせていただきました。出店事業者は3店ということで実施をいたしまして、こちらも計画上は令和元年度からの取組着手という方針でしたけれども、こちらも令和元年度から取組に着手することができたということでございます。

続きまして、その下、22番、駅周辺のにぎわい創出ということで、鈴蘭台駅前再開発はさきほど申し上げましたので省略をさせていただき、その下の三木駅の再生ということでございます。

こちらにつきましては、火災焼失直後から三木駅の再生に向けた取組を進めておりまして、本年の2月末頃になりますけれども、三木駅の駅前広場の整備の概略的な計画案といったものを策定させていただきました。駅前広場として、小型バス、それから、中型バス、タクシー等の乗入れも可能な駅前広場を整備するといったところを示させていただいております。

併せて、駅前広場の概略が確定をしましたので、ようやくですけれども、新駅舎を建てる場所も定まってきたということで、現在、駅舎の平面の計画、あるいは、外観デザインなどの設計に当たっているところでございます。そして、先月になりますけれども、駅舎の外観的なデザインの複数案といったものが定まってまいりまして、今月中になりますけれども、その中から3案程度に絞り込むといったような形で、今後、三木市内外を問わず、寄附金等で多数応援をいただいておりますので、なんらかの形で市内外の皆様から駅舎デザインについて、御意見等をいただく機会を設けていきたいというふうに考えております。

それから、その下の23番になりますけれども、こちらは神戸市さんの取組であります。最寄り駅が湊川駅ということで、新たに兵庫区役所の新庁舎をオープンされたということでございます。

その下の24番にまいります。それから、併せて、次のページの29番ということで、関連してまいりますけれども、こちらも配布資料－2のほうでお示しをしておりますが、住民、あるいは、企業様に対するモビリティ・マネジメントということで、令和元年度におきましても、自発的な公共交通の利用を促すための啓発活動を実施してきたところでございます。

24番の住民の皆様に対する実施対象者数は552人、そして、各企業様

に対する実施対象者数は37人という実績でございました。

それから、2-3ページの通し番号の26番になりますけれども、転入者に対するモビリティ・マネジメントの実施ということで、こちらも令和元年度からの取組着手の方針という項目であったわけですが、三木市のほうにおきまして、新たな転入者に対しまして、粟生線&バス乗継ガイド、あるいは、三木市の総合時刻表などの配布をさせていただき、新たな転入者に対しまして公共交通の存在を周知させていただくとともに、公共交通の優先利用行動の呼び掛けに努めたところでございます。

それから、次の2-4ページをお願いいたします。通し番号の31番になります。地域内のイベントとの連携といったようなところでございますけれども、上から2段目ですね。「しんちゃん&てつくん電車で三木金物まつりへGO!」といったところで、このたびは協議会といたしまして、三木金物まつりと連携をしたイベント列車の運行ということで、初めての試みということで取組をさせていただきました。

それから、その下になりますけれども、同じ31番の下になりますが、「粟生線スタンプラリー」の実施といったところでございます。こちらにつきましては、お手元の配布資料-3というところにも記載をしております。粟生線スタンプラリーにつきましては平成30年度からの実施ということで、継続的に行ったところでございまして、応募総数が719枚というところ、こちらは県外のほうからも応募者がございまして、配布資料-3にも記載をしているのですけれども、遠いところからでは神奈川県、愛知県、埼玉県、福岡県といったところからの応募もございました。

今回のスタンプラリーにつきましては、駅からバスへ乗り継いでアクセスができる観光施設、そうした観光施設のスタンプを押印された応募者に対して、更に、抽選で沿線市にちなんだ景品を贈呈するなどの取組も行ったところであります。

そして、次の2-5ページをお願いいたします、通し番号の35番です。沿線外への地域情報等の発信ということで、下から2行目、そして、一番下のふるさと納税の関係です。

神戸市さん、そして、三木市におきまして、ふるさと納税ということで、地域の返礼品を提供しております。神戸市さんにおかれましては、寄附金額が57万6,000円の25口。三木市におきましては、寄附金額が31万円の31口ということで、それぞれ返礼品につきましては、記載のお品のほうを提供したということでございます。

それから、最後になりますけれども、37番でございます。対象者等を限

定した企画乗車券の発行ということで、神戸市さんにおかれましては、神鉄シーパスイオン、神鉄シーパスインプラス、そして、三木市におきましては神戸電鉄福祉パスということで、それぞれ対象者数が違いますので、規模が違いますけれども、対象者数の増加などによりまして、いずれも昨年度に比べまして、交付枚数が増加いたしましたというところでございます。

以上、長くなりましたが、抜粋という形で、昨年度の協議会の事業報告をさせていただきます。

○会長

ありがとうございました。それでは、議事第1号について何か御意見等がありましたら、挙手にてお願いいたします。マイクは事務局が持っていきますので、よろしくをお願いいたします。

なんでも言っていたらけっこうです。もし、なければ、後のところで思い付いたということで御発言いただいてもけっこうです。議事第1号について、何か御意見は。

では、〇〇先生。

〇〇〇委員

丁寧な説明、ありがとうございました。説明では触れられてなかったのですけれど、パーク&ライドがなかなか、近年、増えていない感じなんです。それで、何か分析していて、何か手を考えようという議論が行われているか、教えていただきたいのが1点と、モビリティ・マネジメントの参加者数も伸びてないのですけれども、こちらのほうも何かお考えがあれば、お聞かせいただければと思います。

○事務局

はい。2点、いただきました。

パーク&ライドにつきましては、利用状況等についても御指摘のとおり大きく増えてはいないというところでした。継続的に、今後、また、この向上に向けた取組等については、協議会の中で、また、実務担当の中で協議をさせていただいて、また、方向性などを今後お示しできればなというふうに考えております。

併せまして、モビリティ・マネジメントのほうにつきましても、対象者のほうが少なくなっているということでございます。この住民の皆様に対する対象者ということで、平成30年度が794人ということになっております。

こちら内容を見ますと、30年度は、神戸市さんのほうで神戸学院大学の学生さんを対象に約300人程度ということで開催をされたというところが、大きく30年度は出ていたかと思いますが、令和元年度につきまし

ては、そういう多数の対象者のところが少なかったということで、こうした意識啓発については、引き続き、大事だと思っておりますので、人数のこともありますけれども、継続して取組をさせていただければと考えております。

○会長

先生、いかがでしょうか。よろしいですか。

ほかに御意見がございましたら、挙手にてよろしく願いいたします。

では、ないようでしたら、ここで議事第1号について、御承認いただけるということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

ありがとうございました。では、異議なしの声をいただきましたので、第1号は承認をさせていただきます。

続きまして、第2号、歳入・歳出決算及び監査報告につきましては、歳入・歳出決算について、引き続き、事務局から報告願います。

○事務局

続けて、失礼をいたします。それでは、お手元資料-3をお願いいたします。

令和元年度の協議会の歳入・歳出決算、まず、そちらのほうの御報告をさせていただきます。

まず、歳入のほうであります。科目1の負担金ということで、こちら、神戸市さん、そして、三木市、小野市さん、神戸電鉄さんの4者からなります協議会の負担金ということで1,407万7,923円となっております。

続きまして、科目2の繰越金、こちらは平成30年度からの繰越金ということで2円。

科目3の諸収入につきましては、預金利息ということで40円。

合わせまして、1,407万7,965円となっております。

一方、歳出の部であります。科目1の運営費につきましては、こちらは昨年度、協議会を3回開催しておりまして、委員報酬、あるいは、議事録の作成費などという形で決算額32万3,940円。

そして、科目2の事業費につきましては、さきほど申し上げましたようなさまざまな計画に基づきます取組に要した経費ということで、1,375万4,023円という形となっております。

科目3の返還金は、ゼロ。

科目4の予備費につきましては、令和2年度、次年度への繰越金という形で2円を計上いたしまして、合計1,407万7,965円ということで、

収支の均衡を図った決算といたしております。

以上で、令和元年度の協議会の歳入・歳出決算につきましての御報告を終わります。

○会長

では、続いて、監査報告にいきます。

神戸市の〇〇委員、お願いいたします。

〇〇〇委員

監査報告でございます。この令和元年度の本協議会の歳入・歳出決算につきまして、決算書、証拠書類等を照合した結果、いずれも適正に管理され、違算のないことを確認いたしましたので、御報告いたします。

以上でございます。

○会長

会計監査報告、ありがとうございました。

では、この議事2号につきまして、何か御意見、御質問等ございましたら、よろしく願いをいたします。

では、次に進めさせていただきたいと思っております。もしなければ、第2号議案についても御承認をいただけるということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

ありがとうございました。第2号は承認をされました。

続きまして、議事第3号、4号は関連がありますので、一括して事務局から説明をいたします。

○事務局

それでは、資料-4につきまして御説明をいたします。令和2年度の協議会の取組方針及び重点事業(案)についてということで、毎回、年度当初にその年度の取組方針、あるいは、重点事業を御提示させていただいております。本年度につきましても、同様に御提示をさせていただければと思っております。

まず、見出しの1、取組方針であります。大きく3点書いております。

まず、(1)ということで計画の目標理念、基本方針に基づきまして、住民、企業、自治体、交通事業者等の各関係者が主体となり、積極的な公共交通の維持・活性化に継続して取り組むということで挙げております。こちらにつきましては、令和元年度にも記載をさせていただいたのですが、やはり、取組方針のベースとして必要な部分と考えまして、本年度も挙げております。

それから（２）です。計画の数値目標の中間評価の実施ということでやっていくわけですがけれども、事業の取組効果の検証、今後の取組改善を図ると。併せまして、本協議会の各委員の皆様、この後に御提案をさせていただきまされども、各委員の皆様に対するアンケートの実施などによりまして、公共交通の活性化に向けた取組内容を共有させていただくとともに、委員の皆様相互の連携により、計画の目標達成に向けた施策の実施につなげていければということで考えております。

そして、方針（３）です。令和３年度、早いもので、この計画につきましても、来年度、令和３年度が計画の対象期間の最終年度ということになっております。このため、さきほど申し上げましたアンケート結果も踏まえつつ、次期計画の策定に向けました方向性といったところを、本年度中に御提示をいたしたいということで書かせていただいております。

次は、見出しの２、重点事業でございます、こちらは計画の３つの方針に基づきまして、それぞれ記載をいたしております。

まず、基本方針１、鉄道を軸とした地域公共交通網の維持・形成に資する事業ということで、大きく３点書いております。

まず、アの鉄道とバスの広域時刻表の作成ということで、こちらはさきほども申し上げましたけれども、平成２９年度からの継続事業という形で、引き続き、本年度も作成をさせていただき、鉄道とバスの接続情報等の発信に努めてまいりたいと考えております。

それから、イの駅的美装化の実施であります。こちらにつきましても、平成２９年度から継続的に実施をしておりますして、本年度においても実施をしてみたいと考えております。

なお、こちらにつきましても、神戸電鉄さんが独自に実施をされます駅の美装化等々の兼ね合いもございますので、現段階におきましては、協議会として実施をする整備箇所等につきましても、現段階においては未定と、今後の検討ということで御理解をいただきたいと思っております。

それから、ウです。鉄道安全輸送設備等整備事業費補助による側面的な支援ということで、こちらにつきましても、神戸電鉄さんが行われます安全輸送の整備につきましても、国、県、沿線市が協調して支援をしていけたらということで、当協議会といたしましては例年やっておりますけれども、国要望などによりまして側面的に御支援ができたというふうに考えております。

それから、次の４－２ページをお願いいたします。基本方針の２ということで、まちづくりと連携した地域公共交通網の形成という内容です。こちらにつきましても、本年度は大きく２点を挙げております。

まず、アの鈴蘭台駅前再開発工事の推進ということで、神戸市さんにおかれましては、令和元年度までに駅ビル及び橋上駅舎の建設、そして、駅前広場の整備を行ってまいりまして、令和2年度におきましては、鈴蘭台幹線の北区間ということで、鈴蘭台駅の北側、鈴蘭台駅から小部小西の交差点、そうした区間の整備を進められるということでございます。

それから、イの三木駅の再生ということで、さきほど報告の中で現状の取組について御報告をしたところでございますけれども、令和3年度中の早期の供用開始に向けまして、新駅舎のデザインの選定、詳細的な設計、駅前広場の整備を進めてまいりたいと考えております。

そして、最後の基本方針3、地域公共交通の活性化及び利用促進に資する取組という形で、こちらは3点挙げております。

まず、アです。新型コロナウイルスの状況を考慮した利用促進策の検討ということで、こちらは新規事業と位置付けたいと考えております。今後の新型コロナウイルスの状況がどのようになるのか、ちょっと現状においては定かではございませんけれども、当協議会、地域公共交通の利用促進を主目的としている部分もございますので、そうは言いながらも、やはり公共交通を利用して、観光施設等を楽しむことができるような利用促進策を、今後、検討してまいりたいと考えております。現時点でどのような施策があるかということについては、現在では、まだ御報告できる段階にはないのですが、また、通常とは違ったような形でそうした利用促進策を、御提案できればなということで考えております。

それから、イのモビリティ・マネジメントの推進ということで、こちらにつきましても、やはり、ベースとしての大切な取組と考えておりますので、引き続き、実施をいたします。

それから、ウの粟生線スタンプラリーの実施。こちらにつきましても平成30年度から取組ということで、参加者数も多くございます。本年度におきましても実施いたしたいと考えております。

その下、見出しの3ということで、本年度の協議会のスケジュール等について記載をさせていただいております。

本日が第1回目ということで、協議等を行っております。そして、来月になりますけれども、第2回目を8月下旬に開催をさせていただき、国への要望内容の案でありますとか、それから、令和元年度、中間年度をとらまえた中間評価の案、そして、この後、御提案いたしますけれども、アンケートの結果報告などをさせていただければなということで考えています。そして、本年度第3回目を12月中旬ということで、開催を予定しております。

国への要望の結果報告、そして、次期計画の策定に向けた方向性などについてお示しをし、議論をさせていただければということで考えております。

以上で、令和2年度の協議会の取組方針及び重点事業案についての説明を終わらせていただきまして、引き続いて、資料－5です。令和2年度の協議会の歳入・歳出予算案に移らせていただきたいと思います。

こちら、予算案につきましては、結論から申し上げますと、昨年度と全く同額の予算といたしております。新型コロナウイルスの状況が、今後、不透明な状況ということになっておりますこと、また、年度途中からの予算執行という形になりますけれども、負担金の枠内での年間を通じたトータル的な予算ということで組ませていただいております。

まず、歳入の部です。科目1の負担金につきましては、神戸市さん、三木市、小野市さん、そして、神戸電鉄さんの4者からなります負担金の計上ということで1,600万円。

なお、小野市さんにつきましては、協議会のほう、本日は御欠席でございますけれども、小野市さんのほうで予算を計上していただいております、また、協議会の負担金の予算に組み入れることについても了承をいただいているところでございます。

歳入の科目2の繰越金、それから、3の諸収入については、予算上の科目存置という形で置かせていただきまして、合計1,600万2千円という予算としております。

一方、歳出につきましても、こちらも昨年度と同様なのですけれども、科目1の運営費につきましては、協議会の開催経費等ということで40万円。

科目2の事業費につきましては、残りの金額を事業費に当て込むという形になりますけれども、計画の実施に要する経費ということで1,560万円。

そして、科目3の返還金及び4の予備費につきましては、予算上の科目存置という形で歳出合計1,600万2千円という形で、収支の均衡を図らせていただいているところでございます。

以上、令和2年度の協議会の歳入・歳出予算（案）についての御説明を終わります。

○会長

ありがとうございます。議事第3号並びに議事第4号、令和2年度の協議会の取組方針、重点事業、歳入・歳出であります。御意見、御質問があるかたは挙手にてお願いします。

○○委員、どうぞ。

○○○委員

三木市商工会議所の〇〇でございます。この計画のですね、基本方針3の中の新規のコロナウイルスを考慮したということで、新しいアイデアがなかなか出てきていないようですので、ちょっと私が見た、コロナウイルスだからこそ光る粟生線のメリットというのを、ちょっとお話させていただきたいと思うのですが、粟生線に乗ってきて、一番安心できるのはガラガラなんです。いや、それはすごいメリットだと思います。どこに観光に行こうというときに、それで更に言えば、皆さんのイメージもそうだと思うのですよ。粟生線はあれ空いているよね、ガラガラだよ、安全だよとすぐになる。

それから、もう一つ、さん、大変すみませんけれども、粟生線って、実際はそうじゃないかもしれないけれども、しょっちゅう空気が入れ替わって、冬は寒いし、夏は暑いしというイメージがすごくあるんです。これも実際はそうじゃないかもしれないけれど、すごい換気ができているなという、非常にプラスの、今だからこそ言えるプラスのイメージがすごくある。そして、駅に立ってみたら、こういう風景、そんなに人がいなくて、のどかな感じで、あそこに行ったら、けっこう安全に子どもを遊ばせられるやんとか、なんかいろんなアイデアがそこから生まれると思うんですよね。

ですから、今まで粟生線がだめだ、だめだ、だめだと思っていたところを、逆手にとったようなPRなり、なんなりをしていただいて、ガラガラの粟生線、冬でも、窓を閉めても風が入ってくる粟生線みたいなところを、大いにPRしていただいて、そして、今、皆さんはくすっと笑ったと思うんですけれども、実際、それを見てくすっと笑う人はけっこういると思います。そのくすっと笑うというところは、絶対記憶に残ると思います。今だからこそできるキャンペーンは、そういうところじゃないかなと思いますので、ちょっとこういう考えもあるのだということを、参考にさせていただきたいと思いません。

以上です。

○会長

ありがとうございます。確かにピンチはチャンス、ものは考えようだと思います。

粟生線に限らず、私は一昨日、東京に行っていたのですが、驚いたのですが、東京の市営地下鉄もガラガラでした。

何か事務局、これに対して、御意見ありましたら。

○事務局

今の現状の粟生線を逆手にとるという発想、アイデアは頂戴しました。今

後の施策の検討に当たって、その辺り、今の現状の栗生線を逆にプラスに変えられるような形での施策の展開を、また、一緒に考えていければなと思っております。ありがとうございます。

○会長

ほかに御意見ありましたら、挙手にてお願いいたします。どうぞ。

○○○委員

現計画ですね、今やられているやつを見させていただきましたが、さまざまな角度でいろんなことをきめ細かくやられておられるということで、敬意を表します。

ただ、次に、次期計画に向けた検討が始まるということで、アンケートで代えさせていただければいいのかとも思いますが、所管課と話してしまして気付いたことを申し上げたいと思います。

ここの配布資料の中で、駅ごとの乗降客数のデータですかね、それがございますけれども、それは単年度として書いてある形で、各駅ごとに、どこの駅がどういうふうに推移しているかみたいな、大きな流れという分析みたいなものを、今後、されていけばいいのかなと思います。要は、それは駅周辺のまちづくりとも関連した話になってくるのかなと思いますので、そういう視点で見るとするのは一つかなと思います。

あと、コロナ対策みたいなことで、密になっては、なかなか難しいかもしれませんが、例えば、駅前広場を無料開放するみたいなことで、そこであえてにぎわいづくりみたいなイベントを打っていくというのも、簡単ではないかもしれませんが、あるかもしれないなということで、所管課のほうと話をさせていただきました。

以上でございます。

○会長

引き続き、貴重な意見、ありがとうございました。

駅ごとの数値というのは、後ほど神戸電鉄さんに説明いただく資料の中のことだろうと思いますが、また、本年度だけでなく、昨年度等、分かる範囲で御説明いただいたらと思いますし、また、本年度8月、12月に協議会がありますので、その辺も含めて、また、事務局もいろいろ議論を重ねていただいて、次のとき、もしくは、またその次の会でいろんな策を出していただければと思いますが、これについて何か事務局ありましたら。

○事務局

そうですね、過去の各駅ごとの乗降者数の推移などにつきましても、また、神鉄さんと協議、相談させていただきながら、次回以降の場で御報告できた

らと考えています。

○会長

また、御提案がありました駅前広場の無料開放等も御検討いただければと思います。

ほかに、御意見ございますか。どうぞ。

○○○委員

神戸市でございます。さきほどもあったんですけれども、なかなか利用促進という、こういうコロナ禍ではなかなか難しいかなというのもあるのですけれど、さきほどのイベントのやり方というのですか、その工夫ということで、いろいろできるのかなというのと、なるほどなということで思いました。

私のほうからは、利用促進というのは難しいところがあるならば、利用環境の向上みたいなところをやっていけたら、いいんじゃないかなということで、神戸市のほうでも、駅美装化の補助みたいなやつも、別途、また、持っておりまして、神鉄さんも一緒にどこをやっていこうかなということで、いろいろやっているんですけれども、ふるさと納税ですね、神戸市のほうでも制度を創ってやっているのですけれども、いろんなやつがある中で、神鉄の応援ということで、このふるさと納税というのを入れているのですけれども、これは昨年度で、57万6,000円という状況。もっと増やしていくということで、この駅の美装化などをやる場合に、このふるさと納税のお金を使ってということでやっていけますので、ぜひ、地域とかでは、PRを神戸市から外へ出ている家族の皆さん、親戚の皆さんにぜひやっていただきたいということで、PRをしていただけたらなと思います。

ちょっと、返礼品とかが、神戸市に住んでいたら、神戸市の返礼品はもらえないんですよ、というのがありますが、これをよく見ると、神戸市と三木さんもふるさと納税をやっていますので、うまく使えば、うまくいけるのかな、なんていうことも思いますので、ぜひよろしくお願いします。

以上です。

○会長

貴重な意見ありがとうございました。私どもでも、神戸新聞社さんをはじめ、PRをしていきますので、また、神戸市さんもPRをしていただけたらなと思います。ありがとうございます。

何かほかに御意見がございましたら、どうぞ。

○○○委員

事業案に対して変更を要求するようなつもりで発言するつもりではないのですけれども、さきほどの事業報告でも御質問した話ですけれども、そのの

延長上で、この後、御説明のあるアンケートをして、どう取り組むか、更に考えようということなので、その方向性だと思いますけれども、例えば、M Mなんかについても、この会議、いろいろな沿線のかたがたが参加されていますので、そのかたがたともっと一緒になって、いろいろ取り組むことを熱心にしていく必要があるかなというふうに感じているので、その辺りをこの方向性なんかで、検討していただければと思いますし、実際に動いていただければと思います。

それと、もう一つは、利用促進等をいろいろ考えられる中で、イベントが単発にならないように、恒常化するような、ルーティーン化するような形で、仕掛け、仕組み、そういう意味では、みんながお得感がないと続かないので、その辺りをよく考えながら、みんなが得になるような形で、恒常的なイベントというふうに考えないと、年に1回だけ盛り上がり、後は終わるというのは、後が続かないので、そこは気を付けていただきたいなと思っています。

この利用促進を考える中で、パーク&ライドが伸びていないのは仕方ないと諦めるのではなくて、やはり増えてもらわないと、駅まで自家用車で通いたいというかたもたくさんいらっしゃるでしょうから、そのかたがたも引き込めるようなことも考えていかないとよくないと思いますので、その辺り、よろしくお願ひしたいと思います。

あと、次期計画は、いろんなことを考えないといけないと思うので、それもこの場で基本的には議論する必要があると思うのですが、それは、また、今後、出てくるのだと思いますが、そのときには議論させていただければと思います。

以上です。

○会長

ありがとうございます。次期計画の策定についても、また、次のときになるのかと思いますが、案を出させていただきますが、やはり、事務局だけでは、まだまだ我々も分かってないところもたくさんありますので、さきほど〇〇先生からもありましたけれども、やはり恒常化したイベント、また、パーク&ライド、そして、沿線住民を巻き込んだ活動ということを御提案いただきましたので、こちらには、それこそ区長協議会のかたがたも、元区長協議会のかたもおられますので、いろんな御意見がありましたら、御発言いただきましたら幸いですし、また、ひょっとしたら発言しにくいというかたは、また、アンケートがありますので、ぜひ忌憚のない意見を出していただければと思います。

何かほかにございましたら。では、とりあえずは、ここでこの議事第3号

並びに議事第4号について御承認を賜ればと思います。御承認ということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

ありがとうございました。では、議事第3号、4号は承認されました。

続きまして、議事第5号に移りたいと思います。アンケートの実施について、事務局から説明をお願いします。

○事務局

議事としては最後の議題になりますけれども、資料-6をお願いいたします。

神戸電鉄粟生線の更なる利用促進に向けたアンケートの実施についてということで、このたびは沿線地域の公共交通のうち、粟生線にスポットを当てたアンケートが実施できないかというふうに考えております。

その文章の全体に書いておりますとおり、本協議会における更なる議論の活性化のため、また、今後の粟生線活性化策の議題の題材にしていくということから、本協議会の各委員の皆様に対しまして、アンケートを実施させていただきたいと考えております。

アンケートの回答内容に基づきます粟生線の利用促進策につきましては、この協議会の場において議論を検討していきまして、次なる施策の実施につなげていければと考えております。

このアンケートをすることによりまして、一つ、それをきっかけとして、この協議会、更に議論していきやすい、発言していきやすい雰囲気になればという思いもございますし、アンケートの回答内容に基づく施策につきましては、次期計画にも取り入れていきたいといった思いがございます。

見出し1のアンケートの質問内容につきましては、これは6-3と6-4のほうを御覧いただきたいと思いますけれども、質問としては大きく4つを挙げております。6-3ですけれども、まず、問1という形で粟生線の利用促進のため、あなた、この各委員さんが、現在又は日頃から取り組まれていることは何でしょうかということで、取組がある場合について、その内容を教えていただくという問いでございます。

それから、問いの2番、地域や団体の活性化を目的に、既に取り組まれている施策で、この協議会との協働、連携によりまして、双方の取組効果が向上するような施策があれば、お教えをいただきたいという問いでございます。

それから、問いの3つ目です。協議会、そして、沿線各市におきましては、粟生線の利用促進のために、これまでからもさまざまな施策に取り組んでま

いったところでは、こうした中、栗生線の更なる利用促進のためには、今後、どういった施策や取組が必要とお考えであるかをお聞かせいただきたいという問いです。

それから、問いの4番につきましては、栗生線の更なる利用促進のために、あなた、各委員さんが、協議会の他の委員の皆様と協働、連携して取り組んでみたいような施策があれば、その内容を教えていただきたいという問いです。

そして、6-4につきましては自由記載ということで、御自由に意見や提案などを書いていただくということでさせていただきたいと考えています。もちろん、回答欄が不足するような場合もあるかと思いますが、そういった場合は、任意の様式で御記入いただければけっこうと考えております。

6-1のページに戻っていただきまして、アンケートの回答期日につきましては、今月の27日の月曜日とさせていただければと考えています。本日から約2週間後ですけれども、27日の月曜日までにお返しをいただけたらと考えております。

3のアンケートの回答内容につきましては、事務局のほうで取りまとめをいたしまして、次回、第41回の協議会において、報告、紹介させていただき、今後の議論の活性化、あるいは、利用促進策のほうにつなげてまいりたいと考えておりますので、御承認のほうよろしくお願ひできればと考えております。

以上で本件についての説明を終わります。

○会長

ありがとうございます。このアンケートに実施について、何か御意見、御質問、何か確認事項等がありましたらお願いいたします。

ちょっと、私から1点、事務局、よろしいでしょうか。これは各委員さんに対するアンケートということでもありますけれども、例えば、今日、三木東高校さんとか、小野高校さんとか、先生がたが来られてますけれども、例えば、こういうような関心が高い生徒に話を聞いた上で、例えば、委員さんから出してもらおうということは、別にかまわないでしょうか。

○事務局

もちろん、その組織などの代表という形で出ていただいておりますので、当然、大丈夫です。

○会長

ぜひ、御自身で書いていただくのはもちろんのことではありますが、そして、また、関係者等に聞いていただいて、また、アンケートを提出いただければ

と思います。

御質問等がありましたら、よろしくお願いいたします。

では、ないようですので、この議事第5号アンケートの実施について、御承認を賜りたいと思います、御承認いただけますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

ありがとうございました。では、アンケートの御協力、よろしくお願いをいたします。

次に、報告事項に、まずは移らせていただきます。報告事項第1番、粟生線の利用状況についてということで、神戸電鉄さんのほうからよろしくお願いいたします。

○○○委員

それでは、資料7につきまして御説明させていただきます。座りまして、失礼させていただいて、御説明いたします。

今日は皆さんに御認識いただきたいのは、この1枚目、資料の7-1のところなのですけれども、新たに委員になられたかたもおられますので、そのほかの2から4につきましても、どういうふうに資料を見たらいいのか、どういふことを普段説明しているのかということとを先に御説明をさせていただいて、それから、本題のほうを御説明させていただきたいと思います。

ということで、まず、7-2を見ていただきたいのですけれども、こういった表をいつもお示しさせていただいていまして、3、2019年度の状況(実数)ということで書いておりますけれども、最初の表のところの見方なのですけれども、これは昨年度、2019年度の利用者全員が、どういうような乗り方をしたのかということとを説明しております。

左側の乗車駅と書いておりまして、その横に粟生線、有馬線、三田線ということが書いてありますが、ここの行は、例えば粟生線というところは、粟生線で乗りましたよと、乗ったら、右のほう、降車駅、有馬線で降りられると、粟生線と有馬線を結んだところの105万6,414人、これが去年1年間で、粟生線で乗って、有馬線で降りましたというような表になってございます。という形で見させていただいて、それらを合計すると何人でしたかというのが、2つ目の表になっておりまして、784万1,616人ということとでした。

これはその表の合計欄、右端と左下に数字がございましてけれども、ここを足し合わせますと、粟生線と粟生線が交差するところは二重に足しますので、それを差し引いた分が784万1,616人ということで、利用者数になる

と、こういうふうに見ていただければと思います。

更に、そういった御利用の中で、粟生線の各駅でどのような乗降にあったかというのが、その下の表になってございます。

鈴蘭台西口で見ますと、最初、6万6,201人ということで、粟生線の「粟」という字が2つ書いてありますけれども、これは粟生線で乗って、粟生線で降りた人ということで、鈴蘭台西口で乗った人、あるいは、降りた人が6万6,201人おられましたというのが、最初のところでございます。

その次に、有馬線から粟生線ということで略して書いていますが、これは有馬線というのは、粟生線から他線に行こうとすると、絶対有馬線を通るので、有馬線だけではなくて、三田線、公園都市線や他社線、そういったところも含めた人が有馬線を通じて粟生線に来て、鈴蘭台西口で降りたかたが39万6,961人いましたと、そういう見方になります。

逆に、今度、粟生線から有馬線ということであれば、鈴蘭台西口で乗られて、有馬線を含むほかの線に行ったかたが38万5,315人おられたと。そういうような数字が、記載してございます。

その合計ということになっていまして、1日当たりで割りますと、2,318人のかたが鈴蘭台西口駅で乗り降りをされたと、そういうことになっており、それは粟生線全体の乗降で見ますと、何%ということでは割合が書いてございます。

ということで、市域別で見ますと、神戸市域で44万5,162人の乗降があつて、1日当たり1万2,175人ということで、これは粟生線全体の46.7%の乗降になっていると。三木市域は350万人ほどで1日当たり9,500人ほど、36.7%。小野市域だと158万ほどで、1日当たり4,300人ほど、16.5%の御利用の状況であるということが昨年度の結果だったというのが、この表でございます。

本来ならば、その前の年度との増減をお付けするところなのですが、今回はコロナの影響が非常に入ってしまっていて、増減を見ても分からないということがありますので、付けておりません。

ただ、御利用の状況については、前回の協議会で御説明したとおりでございまして、初めてのかたに申し上げておきますと、粟生線が減っている、減っているという中でも、実は増えている駅がございまして、そこはどの駅かと言いますと、まず、神戸市域でいいますと木津駅、小野市域でいいますと檜山駅。こちらに共通する要素は何かと言いますと、工業団地があるということで、その工業団地の入居者が増えることによって、そこへ勤めるかたが増える。通勤で、車だけではなく、鉄道を利用されるので、ここが増えてい

くというような傾向がございます。

あと、昨年度の傾向としましては、さきほど事務局からの説明もありましたが、恵比須駅はコロナ影響前でみますと、増えていたというところですが、これはゴルフのイベントでたくさんのかたが、コニカミノルタ杯、日本女子オープンのとときに1万4,000人も普段よりも多く利用されたということが報告としてございましたが、そういった大規模イベントがあると増える。

あと、学生さんが多く使われる、栗生駅であったり、小野駅であったり、あるいは、志染駅であったり、あるいは、葉多駅であったりというようなところ、あと、大村駅ですね、といったところは、学生さんが入れ替わるタイミング、年度が替わると乗られるかたがごそっと入れ替わりますので、それによって増えたりとか減ったりとかするという傾向が、栗生線の特徴としてはございます。

その他、いわゆるニュータウン、大きなベッドタウンが沿線にあるわけですが、そういったところに関しましては、大きな流れとしては人口減少というか、生産年齢人口が減っていくのに伴って減っていていると。栗生線の中でも、そういった特徴をもって、推移していているということで、さきほど、〇〇委員から、各駅の状況については、また、計画をまとめていく中で示されたいということがありましたので、そちらは、また、折をみて出させていたどうかと思っております。

表の見方はそういうことになっていまして、あと、7-3、7-4については、その第1四半期の状況でございますけれども、こちらはもろにコロナウイルス感染症の影響を受けておりまして、内容についても1ページ目に報告がありますので、1ページ目のほうで御説明をさせていただきます。

7-1に戻っていただきまして、一つ目、年間実利用者数の推移ということで、この5年間どう推移してきたかということの表になっております。

この協議会といいますか、三木市さん、小野市さん、神戸市さんで策定された栗生線の地域公共交通網形成計画、こちらの中では、この実利用者を850万人まで引き上げようと。17年度からの計画でしたので、作ったときの指標は2015年度の842万人ほどのところだったんですけれども、とにかく減少するのを止めようと、850万人を目指そうということで計画を策定したわけですが、残念ながらこういった経過で、昨年度は784万人ほどということで、目標に対して66万人満たずというような状況になってございます。

一つのラインとしては800万人というところが、なんとか持ちこたえられないのかなと思っていたところなのですが、残念ながら2年連続して割り

込んでしまったと。それと、2019年度は、本来、黒丸の部分に書いていることなんですけれども、2018年度にたくさん災害があって電車が止まったと、7月豪雨に始まり、台風20、21号、24号、これらを合わせますと5日くらい実質的には運休していたというような状況ですし、また、昨年度はうるう年ということで、営業日数がほかの年に比べると1日多いというところからしますと、この794万人よりは上にきて、800万人をキープできるのかなと、私は思っていたのですが、残念ながら最後にコロナの影響がございまして、このような結果になったと。800万人をなんとか維持していきたいというところなんです、このような状況になっているというところがございます。

2つ目、ここはコロナの影響についての記載でございますけれども、今年に入ってから推移を月ごとに書いております。1行目が2020年で今年、2019年が昨年ということで、増減を書いてございますが。1月、2月につきましては、あまりコロナウイルス感染症の影響はなかったのですが、3月に入りまして学校のほうで休校であったり、移動自粛等の影響が現れ始めまして、3月が12万7,000人の減、20.35%マイナス。4月に入りますとそれが加速しまして、36万人ほどの減、50%を超えるマイナス。5月が今のところ最大になっておりまして、40万人を超える減少、マイナスも55%を超えているというようなことになりまして、6月に入りまして移動自粛等が解除されまして、戻ってはきているんですけれども、26%のマイナスということで、18万7,000人の減少ということになっております。

足元の定期のほうはだいぶ回復してきたんですけれども、やはり定期外、お年寄りのかたを中心に、外出を控えられているというところ、あと、観光需要がない、そういったところが非常に効いておりまして、まだ25%ぐらいのマイナスが続いているというようなところでございます。

ということでいいますと、既に2020年度は、4から6月で94万人マイナスということになりまして、もう通年で100万人を超えることは確実。そのダブルスコアぐらいになってしまうのではないかなと、そんなことも頭をよぎってしまうのですけれども、そういう状況です。

これは粟生線だけではなくて、全線同様ということでございます。これが非常に会社にダメージを与えておりまして、これに伴う旅客収入の減少は、実は阪神・淡路大震災を超えてしまっていると。本当に会社として経験したこともない危機的な状況という中で、運行は今までどおりやれということで要請を受けまして、やっている中で、本当に決算が怖い状況なんですけれど

も、となりますと、やっぱり、なかなか今までどおりにやっていると、路線の維持も含めて、会社の存続も含めて非常に厳しいという中で、やっぱりいろんなものを取り込んで、自助努力だけではなくて、皆さんにもいろいろ知恵や御支援をいただきながら、さきほど会長からは、国交大臣にもいろいろ要望をしておいたからということを書いていただいておりますけれども、本当に皆さんとこの危機的な状況を共有して、認識を、危機感を共有して、取り込めるものは全部取り込んで、いろんなものを総動員して、この難局に立ち向かっていきたいなと思っておりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。私からの説明は以上とさせていただきます。

○会長

ありがとうございました。報告第1号、粟生線の利用状況について、何か分からないこととか、御意見等がありましたら挙手にてお願いいたします。なんでも神戸電鉄さん、お答えいただけますので、よろしいでしょうか。また、後でありましたら、また、よろしくお願いをいたします。

では、先に進ませていただきます。次の新型コロナウイルスの感染拡大に伴う協議会事業の中止又は延期について、まずは、事務局から報告願います。

○事務局

三木市都市整備部交通政策課の〇〇です。私のほうから資料8について御報告させていただきます。以下、着座の上、御報告させていただきます。

そういたしますと、資料8、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う協議会事業の中止又は延期についてということで、この資料に記載のとおり事業の中止又は延期を行っております。

なお、昨年度の令和元年度の事業についても中止したものについては、この資料に記載をしております。年度をまたいでおりますけれども、このたびの一連のコロナの影響ということで、1枚の資料にまとめておりますので、その辺りはあらかじめ御了解いただけたらと思います。

資料に記載のとおり、まず、1番、中止した事業ということで、山田錦まつりと連携したイベント列車「山田錦まつり号で山田錦まつりへGO!!」の運行ということで、令和元年度、イベントを企画して、3月15日に運行を予定しておりましたけれども、第25回の山田錦まつりの開催が中止になりましたので、それを受けて、このイベント列車も運行を中止したというところでございます。

それから、(2)「七夕列車」の運行及び駅における短冊の展示ということで、例年6月下旬に実施をしておる事業なのですが、こちらは遅くとも4月中には事業に着手しないとイベントには間に合わないというスケジ

ユール感でありまして、4月末時点で事業の中止を決定したというところでございます。

それから、2番、延期する事業ということですが、「神鉄おもてなしきっぷ」の販売ということです。こちらは、例年は7月の下旬には実施をしているというところで、その場合は遅くとも4月中には事業の着手をする必要がありましたけれども、新型コロナウイルスの感染拡大の状況に応じまして、実施時期の変更により、今後も事業自体は実施できる可能性も残っておりますので、事業については延期という形でさせていただいております。現在、本年10月以降の販売開始を検討しているというところで御報告とさせていただきます。

以上です。

○会長

ありがとうございました。何かございますか。よろしいですか。

神戸市さんにちょっとお尋ねしたいのですが、今日の神戸新聞の神戸版に7月10日から。急に言ってすみません。

○○○委員

ありがとうございます。神戸市では70歳以上の高齢者のかたを対象にしまして、神鉄シーパスワンという割引の切符を、利用促進という形でさせていただいております。本来ですと5月の連休前から販売ということで、1年に10回利用できる券が5枚まで買えるというのをやっているのですが、5月からの予定が、今回のコロナの影響でちょっと見送っておったのですが、緊急事態宣言も解除されたということで、この7月10日、明日から販売するということになりました。

○会長

突然、すみませんでした。ありがとうございました。三木市はもうよろしいですか。PRは。

○事務局

ありがとうございます。神戸市さんと同じように、三木市のほうでも三木市神戸電鉄福祉パスという8日間乗り放題のチケットを高齢者、それから、障がい者のかたにお配りしております。毎年4月からスタートしておりましたけれども、コロナの関係で延期をしておりました。それが7月8日、昨日から各公民館で配布を開始しております。こちらのほうも、本年度も、引き続き、積極的に事業に取り組みまして、神戸電鉄さんの利用促進につなげていけたらなというふうに考えております。

○会長

ありがとうございます。何か御意見、よろしいでしょうか。

では、次に参ります。報告事項第3、志染駅～三木駅区間の増便について、報告を事務局からお願いします。

○事務局

引き続き、資料9をお手元に御準備いただけたらと思います。昼間時間帯における志染駅～三木駅区間の増便についてということで、こちらのほうの御報告をさせていただきます。

令和2年3月14日のダイヤ改正から、午前11時台から午後2時台の志染駅～三木駅区間の上下各4便の増便を、社会実験として2年間、三木市の施策により実施しております。

増便の目的といたしましては、志染駅～三木駅区間における昼間時間帯の運行便数について、従来、1時間に1便ということでしたけれども、30分に1便とすることによりまして、これまでの不便さを解消しまして、乗車機会の拡大による栗生線利用を促進するというところ。それから、三木駅再生に向けた取組と併せまして、沿線地域のにぎわい創出を図るとともに、観光客など、沿線外からの来訪者も三木市内へアクセスしやすい環境をつくるというところを目的としております。

増便の開始日としましては、本年3月14日から既に増便をしておるところで、毎日運行をしております。増便の時間帯は、さきほどお伝えしましたが、午前11時台から午後2時台の上下各4便、社会実験として2年間でございます。

事業費としまして、これは予算額ではございますけれども、令和2年度、本年度は3千万円、それから、令和3年度につきましては2千万円以内ということでございます。

7番、その他に記載をしておりますけれども、午前10時台における志染駅～小野駅区間につきましても、上下各1便につきまして、神戸電鉄さんが独自に増便をしておられますので、併せて、御報告をさせていただきます。

以上です。

○会長

ありがとうございます。昼間の時間帯の増便についての報告でありました。何か御質問、意見はございますでしょうか。

なければ、先に進ませさせていただきます。

続きまして、資料10の通勤定期運賃助成制度の終了について、引き続き、お願いします。

○事務局

続きまして、資料10をお手元に御用意いただけますでしょうか。こちら三木市による神戸電鉄通勤定期運賃助成制度の終了についてということで、御報告をさせていただきます。こちらの制度ですけれども、平成26年度から平成28年度までの3か年度、以下、第1期と呼びますけれども、それから、平成29年度から令和元年度までの3か年度、第2期ですね、こちらのほうで所定の要件を満たす神戸電鉄通勤定期運賃の一部に対しまして助成を行ってまいりましたが、本年3月末で助成期間が満了となりましたので、制度を終了いたしました。

助成の内容としましては、要件を満たした申請者に対しまして、神戸電鉄の6か月の通勤定期運賃の半額相当を市が助成をするという内容でございました。

助成実績を2番にまとめておりますけれども、第1期ですね、平成26年度から28年度にかけて助成件数、助成金額、資料に記載のとおりでございますが、平成28年では77件、384万9千円という助成実績でした。第2期につきましては、平成29年度からの3か年ですけれども、令和元年度でいきますと42件、242万1千円という助成でございました。

3番の制度の終了の理由ということで記載をしておりますけれども、第2期の助成件数と助成金額が第1期の実績に比べまして、いずれも低調でありました。いろいろ広報等で周知を続けてきておりましたけれども、実績としてはちょっと低調に終わったというところです。

それから、2番目にも記載しておりますけれども、第1期の助成対象者に対しましてアンケートを取ったところ、助成終了後も、引き続き、粟生線で通勤しているかた、こちらが44%ということでありまして、また、第2期に入りまして、例えば、平成29年度からの助成対象者でみますと、3人に2人が制度を継続利用していない状況でありまして、助成制度が粟生線の継続利用に必ずしもつながっていると言い難いというようなところから、助成期間満了をもって制度自体を終了したというところでございます。

以上です。

○会長

ありがとうございました。この件について何か御意見、御質問等がありましたら、挙手にてお願いをいたします。

よろしいですか。

では、ここで全体的なことについて、何か御意見、御質問等がありましたら、どうぞ。

○○○委員

神姫バスでございます。我々も神鉄さんと地域公共交通を担うということで頑張っておりますが、やはり当社としましても、4月、神鉄さんと同様に、5割以上利用者が減っております。7月現在においても、8割ほどしか戻っていない状況です。やはり、小さい空間に乗るということで、密というところは心配されているのかなというふうに推測しております。

当社としましては、バスと鉄道、安全に乗っていただけるように、バスについても新型コロナウイルス感染症対策に関する取組をしておりますので、5つの取組について簡単に御説明させていただきたいと思っております。

まずは、乗務員の手洗い、うがい、消毒の励行をしております。2つ目については健康のチェックということで、体温の確認をきっちりしております。それから、お客様に接します乗務員についてはマスクをきっちりと着用しております。それから、バス車内の清掃、それから、消毒についてもきっちり毎日実施しております。それから、最後に、バスの車内の換気も実施しておりますので、市民のかた、あるいは、沿線の皆様には、安心して御利用いただける環境にしておりますので、御紹介させていただきました。

以上です。

○会長

ありがとうございました。私も先日に乗りましたけれども、走行中は窓が全て開いているということで、対策は取られていると認識しております。

ほかに何か。三木警察署さん。どうぞ。

○○○委員

私のほうから、道路交通法の改正について、少し説明だけさせていただきたいと思っております。

6月30日に、あおり運転、これは妨害運転ということで厳罰化されたという報道がなされておりますけれども、道路交通法改正はこれ以外に、実は2年後の施行なんですけれども、75歳以上のかたの免許更新時に技能検査を義務付けるということになりました。ですから、2年後になりますが、75歳以上のかたが免許を更新される際は、技能検査を受けて、これに合格しなければ免許の更新はできません。免許はなくなっちゃいます。

そういうことが始まりますと、免許を持たない高齢者というのが、やはりどうしても増えてこようかと思っております。ちなみに、警察署別ですけれども、神戸西警察署で75歳以上は約9,000人、北警察署で6,400人、有馬警察署で3,800人、三木におきましては5,600人、小野についても約3,000人と、多くのかたがおられるんですけれども、このかたが更新できない、もしくは、それを見越して自主返納されるというのが加速して

こようと思います。

実質的な議論については、おそらく各市ごとの地域公共交通会議で検討されて、対策を取っていかれると思うのですけれども、また、この協議会のほうにも、また、議題とか、報告で上がってこようと思いますので、紹介をさせていただきます。

以上です。

○会長

ありがとうございました。ほかにせつかくの機会ですので、御意見等がありましたら。はい。どうぞ。

○○○オブザーバー

兵庫陸運部です。お世話になります。

さきほど神姫バスさんからもお話がありましたように、公共交通の事業者ですね、かなりこのコロナの影響が厳しい状況の中、エッセンシャル・ワーカーとして運行をしていただきました。

自治体の皆様におかれましては、さきほど市長からもお話がありました、臨時交付金について、できれば積極的な支援をお願いしたいというふうに思います。

以上です。

○会長

ありがとうございます。ほかに御意見等は。○○さんどうぞ。

○○○委員

すみません。事務局のほうにちょっとお尋ねしたいのですが、小野市さんの委員さんについて、参加しますというような形やったのですけれども、今回は来られていませんけれども、何かそういう事情があったのでしょうか。

○会長

参加するという話があったんですかね。

○○○委員

いや。今、最初に言われたんで。

○事務局

私のちょっと言い方が、申し訳ないですが、悪かったのかもしれませんがけれども、いわゆる協議会には残ると。

○○○委員

残ると。

○事務局

ということです。ただ、出席については、協議会のいわゆる活動、活発な

議論と、そういったことを見極めながら、出席について検討するというふうにお聞きをしておりますので、本日はそういう事情で御欠席をされているということでございます。

○会長

よろしいですか。

○○○委員

はい。

○会長

ほかにありますでしょうか。

さきほど、臨時交付金のことについて、国土交通省さんからも御依頼がありました。我々、沿線市としても、当然、検討するのですけれども、営業要請をされた以上、ぜひ国としても取り組んでいただければと思いますので、よろしく願いをいたします。

ほかになんでもけっこうですが、御意見、御質問はございますでしょうか。

なければ、これで会議次第は終了しましたので、マイクを事務局に返します。

○事務局

仲田会長におかれましては、会議の進行、どうもありがとうございました。

それでは、これをもちまして第40回神戸電鉄粟生線活性化協議会を閉会いたします。

委員の皆様におかれましては、今後とも粟生線沿線地域の活性化への取組等につきまして、なにとぞ御協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

なお、次回の協議会の開催につきましては8月下旬を予定しておりますので、公私何かと御多用と存じますが、その際には御参集を賜りますよう、よろしくお願いいたします。協議会のほうを終わらせていただきたいと思います。

本日はどうもありがとうございました。